

## (2) 森林空間利用拠点の整備・強化

### 現状と課題

- ◆ 新しい生活様式の定着に伴い、密から疎、都市から森林・山村への回帰志向が広がり、受皿としての森林に対する期待が高まっています。
- ◆ 登山や散策、キャンプ等の野外活動、森林セラピー<sup>※</sup>、森林浴等の健康増進、自然体験等の森林環境教育<sup>※</sup>などによる多様な森林空間の活用が注目されています。
- ◆ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大以降、テレワークなどが急速に進みサテライトオフィス<sup>※</sup>やワーケーションでの森林空間の利用が広がりを見せています。
- ◆ 県立森林公園、県立公園について、森林空間を利用したサービスを提供する拠点として活用するためには、老朽化した施設（電気・水・通信等）の再整備が課題です。

### 将 来 ビ ジ ャ ム

- ◆ 県立森林公園、県立公園等の施設と観光地が連携して核となり、自治体や住民、NPO、企業・団体が参画し、都市住民等が利用する森林サービス産業が実現しています。

### 取組の方向性

- ◆ 県立森林公園、県立公園などの拠点となる施設の機能を整理・分析し、必要な整備を行います。
- ◆ モデル的な拠点施設での事業展開により森林空間を利用したサービス産業の実現を目指します。

### 具体的施策《重点取組》

#### (森林空間を利用した森林サービス産業の推進)

- ◆ 地元自治体やNPO、企業等と連携した施設整備やPR活動に取り組み、各施設の特徴を活かして、多様なニーズに対応した活用を図ります。
- ◆ 健康、観光、教育やサテライトオフィス、ワーケーションなど多様な分野での森林空間利用を推進するため、施設や環境の整備に取り組みます。



自然の中でテレワーク  
(テレワークセンターMINAKAMI)